

## 平成19年度市場モニタリングテスト結果

機構の支援のもとで

### 「消費生活センターが実施した試買テスト」

NITEでは、製品の品質及び安全性を把握するとともに、消費生活センターのテスト技術向上に資するため、当機構の支援のもとで消費生活センターが商品テストを実施する制度(「消費生活センターテスト支援」)を設けています。

この制度により、平成19年度に実施したテーマ及び消費生活センターは次のとおりで、消費生活センターは消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しています。

なお、テスト結果の詳細については各消費生活センターのホームページをご覧ください、または各消費生活センターにお問い合わせください。

#### 省エネ型電気ジャーポット

<北海道立消費生活センター>

環境などの配慮から省エネをうたった製品が数多く販売されており、電気ジャーポットも真空構造や真空断熱などを利用した省エネ型が販売されています。そこで、性能や安全性等についてテストを行いました。

テストの結果、赤外線カメラで撮影したところ、保温性能が低い銘柄は熱がふた全体から漏れていることが確認されました。また、転倒試験でお湯が漏れる銘柄はあったものの、日本工業規格の基準値(50ミリリットル)を超える銘柄はなかったなどの結果がでています。

#### 電気ケトル

<福岡市消費生活センター>

電気ケトルは「必要な時に必要なだけの熱湯が手早く用意できる」「沸騰したら自動でスイッチが切れるため、空だきの心配がない」などと宣伝され、市場に出回っていますが、電気ジャーポットに比べてまだなじみが薄い製品です。そこで、安全性及び使用性などについてテストを行いました。

テストの結果、沸騰後の取っ手及びスイッチは温度が低く問題はありませんでしたが、側面及びふたについては、一部の銘柄で温度が高くなる結果がでています。また、ふたを閉めた状態で沸騰させた場合、全銘柄とも自動でスイッチが切れるものの、ふたを開けた状態で沸騰させた場合、全銘柄とも自動でスイッチが切れないなどの結果がでています。